

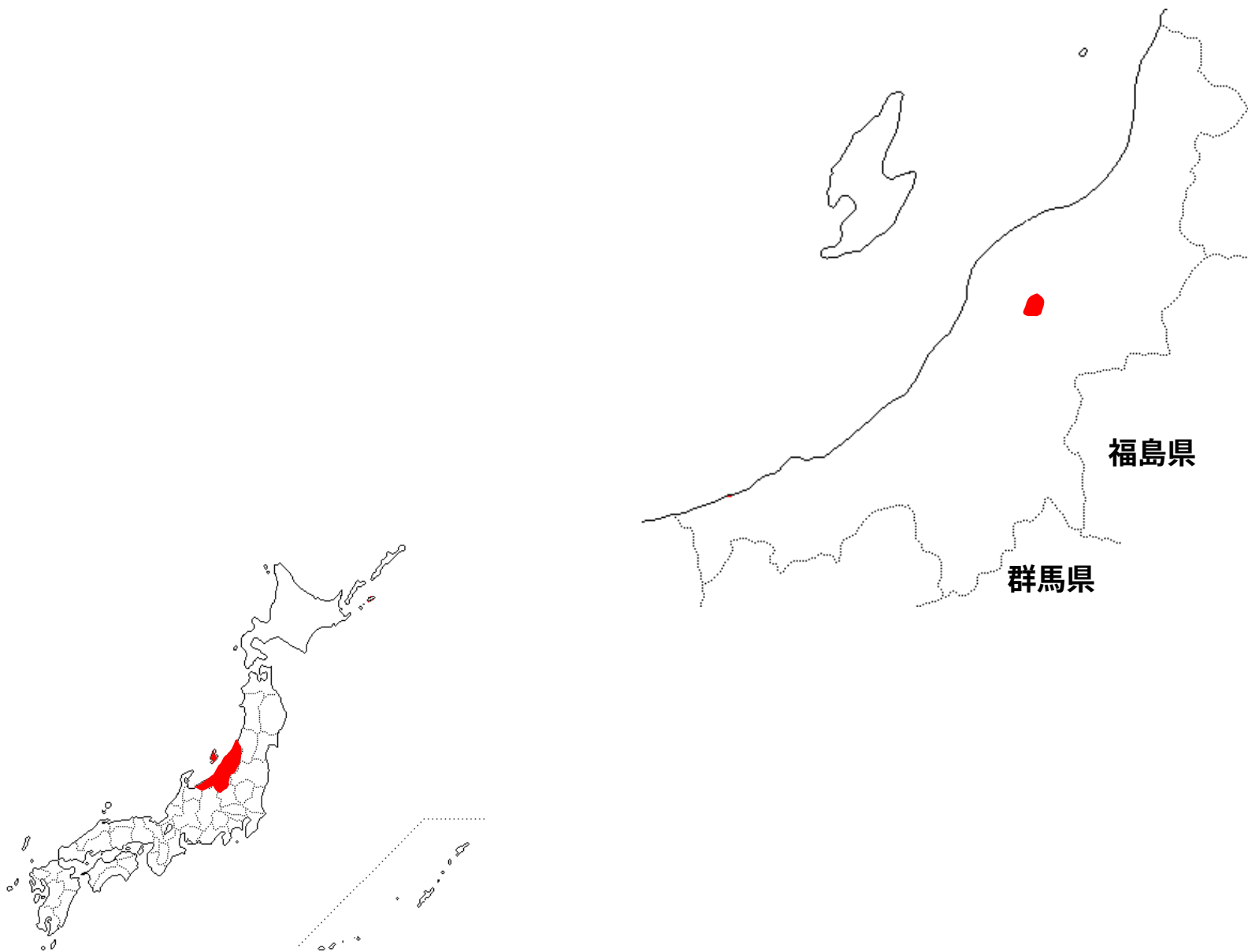
A photograph of a piglet lying on a straw bed in a farrowing crate. The piglet is pink and appears to be resting or nursing. The crate has metal bars and a red and white striped floor. The text is overlaid on the image.

高い生産技術と営業努力が実を結んだ養豚経営

新潟県南蒲原郡田上町

吉澤 博文

新潟県南蒲原郡田上町





吉澤博文氏の経営の推移

年次	種豚頭数	経営・活動の内容
昭和43年	5頭	父が外勤をしながら養豚を開始
56年	40頭	吉澤氏、農業高校を卒業し、食肉加工会社へ就職
平成元年	50頭	食肉加工会社を退職して養豚業に就農
2年	70頭	畜産会の経営診断を受診
6年	80頭	あすなる会発足に参画
7年	90頭	ウインドウレス肉豚舎を建設
9年	90頭	プライベートブランド「熟成豚」を開発・販売
11年	100頭	秋田県大潟村の無農薬有機米栽培グループへの堆肥販売開始

吉澤博文氏の経営のポイント

高い生産技術

- 種豚の系統統一、オールイン・オールアウト
HACCP方式の導入、個体管理の徹底
 - ・ 種豚1頭当り年間肉豚出荷頭数 25.4頭
 - ・ 肉豚上物率 59.3%
 - ・ 種豚1頭当り所得 174,828円
 - ・ 所得率 20.4% (平成18年実績)

営業努力

- プライベートブランド「熟成豚」の開発・販売
- 堆肥販売と耕畜連携

今後の目標

- 法人化
- 熟成豚のPR
- 生産量の増加
- あすなる会活動の向上

参加

技術の向上等

あすなる会

- ◇ 県内5市町の養豚仲間8名で構成
 - 飼料の統一化・共同購入、衛生クリニック受診
 - 各種勉強会の開催
 - ・ データによる経営分析
 - ・ プライベートブランド「熟成豚」の開発・販売促進
 - ・ 豚肉の成分分析、官能検査・試食調査の実施

水田地帯にある農場



子豚舎内部



哺乳中の子豚



ウインドウレス肉豚舎





スーパー「マルイ」



ロゴマーク

精肉売場に並ぶ熟成豚





くみあい浄化槽

放流水は透明に近い



ロータリー攪拌機



堆肥化处理施設



堆肥保管施設



袋詰め



トランスバッグ



あすなる会の主な活動

- 1 県内5市町の養豚仲間8名で構成
 - ・グループ全体で年間約1万頭の肉豚を生産
- 2 飼料の統一化・共同購入
 - ・仕入れ単価の引き下げと肉質改善
 - ・高品質豚肉生産による銘柄豚肉の販売
- 3 衛生クリニック受診
 - ・飼育環境改善向上
- 4 各種勉強会の開催
 - ・データによる経営分析
 - ・熟成豚の開発・販売促進
 - ・豚肉の成分分析並びに官能検査・試食調査の実施



今後の目指す方向性

1 法人化

- ・ 経営における对外信用力の向上
- ・ 雇用条件の充実により安定的雇用が可能
- ・ 経営の合理化・効率化

2 熟成豚のPR

- ・ 新たな販路の開拓

3 生産量の増加

- ・ 消費拡大 (販売量増加) に伴う生産量の増加

4 あすなろ会活動の向上

- ・ 中心メンバーとして、活動を先導

